入社して半年の新卒(受講者)が、期待を超える成果を実証しています(開発、保守案件の内製化に向けた育成計画策定)。

- → AI補助で「非エンジニア」が圧倒的パフォーマンスを発揮

たった1週間で「AIモデル体感コース」の課題①~⑤を軽々クリア。

今後は⑤予測精度向上や⑥実務適用コンテンツを拡充。

受講者と講師が完全フラットな関係で互いに学び合う体制を基本として、

下記の受講者フィードバックに基づき、全社員への展開も考慮したコンテンツを拡充しました。

「M365 Copilot」に下記プロンプトを入力し、コーディング体験してみてください。

受講者コメント①

初心者に向け、機械学習アルゴリズムの種類や特徴、生成AIを活用した機械学習モデル構築の手順を紹介すれば理解が深まる。

【AI入力プロンプト】

電力需要予測を例に、機械学習モデル構築を初めて学ぶDeepReserch、HTMLやCSSでインフォグラフィック生成

【AI応答】

「機械学習モデル構築ガイド」をダウンロードし開けば動作を確認いただけます!

受講者コメント②

課題⑤サンプルを改装しているが、予測精度で苦戦している。

各.pyファイル同士の関係、実行する順番、実行して生成ファイルが他の結果に及ぼす影響など理解したい。

【AI入力プロンプト】

予測精度を比較するダッシュボードをHTMLやCSSで生成

学習フェーズ

- ダッシュボードAl¥dashboard¥index.htmlで選択された学習年のみ学習。
- 学習ボタンで、データ処理(Al¥data¥data.py)、選択されたモデル学習(train/モデルtrain.py)実行。
- 選択されたモデルtrain/モデル_Ypred.pngを保存し学習グラフに表示。

予測フェーズ

- 予測ボタンで、データ取得(Al¥tomorrow¥data.py、Al¥tomorrow¥temp.py)、予測(tomorrow/モデルtomorrow.py)実行。
- 選択されたモデルtomorrow/モデルtomorrow.pngを保存し、予測グラフに表示。

【AI応答】

「<u>電力需要予測AIモデル構築 v2.7z</u>」は「<u>使用手順書v2.0</u>」の「6.2. ダッシュボード操作」で動作を確認いただけます!

「<u>電力需要AI予測ダッシュボード.pdf</u>」で操作イメージを確認ください。